(様式第 9)

国がん発　　３３７　　号
平成２５年　１０月　３日

関東信越厚生局長　殿

開設者名
独立行政法人国立がん研究セ[redacted]
理事長　堀田　知光[redacted]

独立行政法人国立がん研究センター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成24年[redacted]に関して報告します。

記

1　高度の医療の提供の実績　→　別紙参照(様式第10)
2　高度の医療技術の開発及び評価の実績　→　別紙参照(様式第11)
3　高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	137.7人

(注)　前年度の研修医の実数を記入すること。
4　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
　　→　別紙参照(様式第12)
5　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
6　他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
　　→　別紙参照(様式第13)
7　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種		員数
医師	162人	155人	278.0人	看護補助者	4人	診療エックス線技師		人
歯科医師	1人	人	1.0人	理学療法士	2人	臨床検査	臨床検査技師	66人
薬剤師	42人	18人	55.9人	作業療法士	1人		衛生検査技師	人
保健師	人	人	.人	視能訓練士	1人		その他	人
助産師	人	人	.人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師		人
看護師	527人	3人	529.0人	臨床工学技士	4人	医療社会事業従事者		6人
准看護師	人	人	.人	栄養士	人	その他の技術員		24人
歯科衛生士	1人	人	1.0人	歯科技工士	人	事務職員		133人
管理栄養士	6人	2人	7.5人	診療放射線技師	53人	その他の職員		103人

(注)　1　報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
　　2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
　　3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8　入院患者、外来患者及び調剤の数
　歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	499.7人	0人	499.7人
1日当たり平均外来患者数	1088.9人	13.9人	1102.8人
1日当たり平均調剤数	入院：583.7 ＋ 外来：238.0 ＝　821.7　剤		

(注)　1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
　　2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
　　3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
　　4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
網膜芽細胞腫の遺伝子診断	6人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注1）「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注2）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS－1内服投与の併用療法	3人
	人
以下、H24年度内に症例数満了をもって取下げたもの	人
経皮的肺がんラジオ波焼灼法　原発性または転移性肺がん	0人
経皮的腎がんラジオ波焼灼法　原発性または転移性腎がん	0人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与およびベバシズマブ静脈内投与の併用療法	0人
経皮的乳がんラジオ波焼灼法　早期乳がん	0人
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断およびベバスジマブ静脈内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注1）「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注2）「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 特になし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注） 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	3人	・膿疱性乾癬	人
・多発性硬化症	人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	6人	・原発性胆汁性肝硬変	8人
・全身性エリテマトーデス	3人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・再生不良性貧血	11人	・混合性結合組織病	人
・サルコイドーシス	24人	・原発性免疫不全症候群	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・特発性間質性肺炎	人
・強皮症，皮膚筋炎及び多発性筋炎	13人	・網膜色素変性症	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	24人	・プリオン病	人
・結節性動脈周囲炎	1人	・肺動脈性肺高血圧症	人
・潰瘍性大腸炎	28人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	3人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	人
・脊髄小脳変性症	1人	・ライソゾーム病	人
・クローン病	1人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	人
・悪性関節リウマチ	人	・脊髄性筋萎縮症	人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	8人	・球脊髄性筋萎縮症	人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	人
・アミロイドーシス	4人	・肥大型心筋症	7人
・後縦靱帯骨化症	7人	・拘束型心筋症	人
・ハンチントン病	人	・ミトコンドリア病	人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	2人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・ウェゲナー肉芽腫症	人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	人	・黄色靱帯骨化症	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	人	・間脳下垂体機能障害(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	9人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人		

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・センチネルリンパ節生検（H22）	・
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算（H22）	・
・乳がんセンチネルリンパ節加算（H22）	・
・人工括約筋を用いた尿失禁手術（H24）	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術（H24）	・
・CTガイド下気管支鏡検査加算（H24）	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

（注）「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（平成六年厚生省告示第五十四号）に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回／年
部検の状況	部検症例数　34　例　／　部検率　9.70%

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
別紙詳細				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計

（注）1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
別紙詳細			

計

（注）1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元		
1	がん診療連携拠点病院の機能のあり方及び全国レベルのネットワークの開発に関する研究	加藤 雅志	中央病院	9,500,000	補	厚生労働科学研究費	
2	がん対策とその推進に資する国立がん研究センターの新たな機能のあり方に関する研究	加藤 雅志	中央病院	23,520,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
3	早期乳がんに対するラジオ波熱焼灼療法の標準化に係る多施設共同臨床研究	木下 貴之	中央病院	39,000,000	補	厚生労働科学研究費	
4	切除不能胆道がんの治療法の確立に関する研究	奥坂 拓志	中央病院	22,500,000	補	厚生労働科学研究費	
5	膵がん切除例に対する補助療法の向上を目指した多施設共同研究	上野 秀樹	中央病院	31,000,000	補	厚生労働科学研究費	
6	新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究	田村 友秀	中央病院	57,000,000	補	厚生労働科学研究費	
7	限局型小細胞肺がんに対する新たな標準的治療の確立に関する研究	田村 友秀	中央病院	20,000,000	補	厚生労働科学研究費	
8	臨床病期II・IIIの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較試験	藤田 伸	中央病院	10,000,000	補	厚生労働科学研究費	
9	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療に関する研究	山田 康秀	中央病院	13,000,000	補	厚生労働科学研究費	
10	悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	渋井 壮一郎	中央病院	13,000,000	補	厚生労働科学研究費	10

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

11	胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験	片井 均	中央病院	20,000,000	補	厚生労働科学研究費	
12	肛門扁平上皮癌に対する新規化学放射線療法の確立	濱口 哲弥	中央病院	11,500,000	補	厚生労働科学研究費	
13	ポリープ切除の大腸がん予防に及ぼす効果の評価と内視鏡検査間隔の適正化に関する前向き臨床試験	松田 尚久	中央病院	16,000,000	補	厚生労働科学研究費	
14	離島をモデルとした新しい対策型大腸がん検診システムの構築とその実現に向けた研究ー新島STUDY	松田 尚久	中央病院	11,000,000	補	厚生労働科学研究費	
15	再発等の難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植を用いた効果的治療法確立に関する研究	山下 卓也	中央病院	16,000,000	補	厚生労働科学研究費	
16	造血幹細胞移植の有効性と安全性向上のための薬剤のエビデンスの確立に関する研究	福田 隆浩	中央病院	38,000,000	補	厚生労働科学研究費	
17	治療の初期段階から身体・精神症状緩和導入を推進するための研究	清水 研	中央病院	9,500,000	補	厚生労働科学研究費	
18	国内外科手術成績を基礎とした経口抗がん剤による治癒切除大腸癌術後補助治療法の確立	島田 安博	中央病院	25,000,000	補	厚生労働科学研究費	
19	若年がん患者を取り巻くがん診療・緩和治療支援の政策提言に資する研究	米盛 勧	中央病院	6,500,000	補	厚生労働科学研究費	
20	トリプルネガティブ乳がんに対する創薬と治療の最適化	田村 研治	中央病院	24,000,000	補	厚生労働科学研究費	10

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

21	がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究	的場　元弘	中央病院	13,000,000	補	厚生労働科学研究費
22	microRNA阻害剤による骨肉腫がん幹細胞制御を基盤とした新たな革新的がん治療の実用化を目指す前臨床試験	川井　章	中央病院	116,146,000	補	厚生労働科学研究費
23	臨床研究に関する国内の指針と諸外国の制度との比較	藤原　康弘	中央病院	6,500,000	補	厚生労働科学研究費
24	がん研究の今後のあり方に関する研究	堀田　知光	中央病院	52,000,000	補	厚生労働科学研究費
25	乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドライン策定の開発	清水　千佳子	中央病院	9,947,000	補	厚生労働科学研究費
26	被災地に展開可能ながん在宅緩和医療システムの構築に関する研究	堀田　知光	中央病院	100,000,000	補	厚生労働科学研究費
27	抗がん抗体の適合性評価のための分子イメージング臨床研究	田村　研治	中央病院	15,000,000	補	科学技術振興機構(JST)
28	卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性および安全性に関する研究	温泉川　真由	中央病院	1,000,000	補	社）日本医師会治験促進センター
29	がん医療の質的向上および均てん化のための診療支援に関する研究	女屋 博昭	中央病院	33,075,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）
30	QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	江角　浩安	中央病院	68,063,000	補	厚生労働科学研究費

10

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

31	医師臨床研修制度の評価と医師のキャリアパスの動向に関する調査研究	堀田 知光	中央病院	13,699,000	補	厚生労働科学研究費	
32	高度医療技術の効率化及び標準化の開発に関する研究	堀田 知光	中央病院	120,000,000	補	厚生労働科学研究費	
33	ゲノム情報と電子化医療情報等の統合によるゲノムコホート研究の推進	堀田 知光	中央病院	160,576,001	補	科学技術振興機構(JST)	
34	病院設置型加速器ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)システムの開発	堀田 知光 (伊丹 純)	中央病院	67,246,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	
35	循環中の微量がん細胞の高感度発現解析に基づく胃がんのオーダーメード医療の実用化に関する研究	深川 剛生	中央病院	3,675,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	
36	がん患者の緩和療法の開発と多施設共同研究システムの構築に関する研究	的場 元弘	中央病院	19,414,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	
37	希少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同試験	渋井 壮一郎	中央病院	21,168,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	
38	がん患者のQOL向上に資する科学的エビデンス創出ための看護研究の方法論の確立に関する研究	森 文子	中央病院	1,200,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	
39	難治性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	奥坂 拓志	中央病院	18,346,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	
40	眼付属器MALTリンパ腫の全エクソンシークエンスによる全ゲノム解析	棟方 理	中央病院	1,715,000	補	国立がん研究センター (がん研究開発費)	10

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

41	難治性白血病に対する標準的治療法の確立に関する研究	小林 幸夫	中央病院	15,170,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
42	高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	飛内 賢正	中央病院	57,383,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
43	呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	田村 友秀	中央病院	31,987,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
44	機能温存のための精密縮小手術と至適補助療法の開発、品質管理および標準化に向けた基盤的研究	中馬 広一	中央病院	3,675,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
45	小児がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	牧本 敦	中央病院	23,187,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
46	高齢者転移性大腸癌の標準治療確立のための臨床研究～米国臨床研究グループ(NCCTG/CALGB)との共同研究	濱口 哲弥	中央病院	3,675,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
47	精神腫瘍学の均てん化のための研究	清水 研	中央病院	7,092,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
48	Oncologic emergency に対する治療体系の確立	大橋 健	中央病院	5,000,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
49	肉腫及び膠芽腫等の難治性がんに対する（個別化）がんワクチン療法の確立	平家 勇司	中央病院	118,351,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
50	成人難治性造血器腫瘍に対する同種造血幹細胞移植療法の治療成績向上につながる基盤整備のための多施設共同研究	福田 隆浩	中央病院	9,408,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	10

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

51	ゲノムおよびプロテオーム解析に基づく大腸癌のテーラーメード医療実用化に関する研究	赤須 孝之	中央病院	3,920,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
52	早期消化管がんに対する特異的蛍光内視鏡の開発とその臨床応用に向けた研究	齋藤 豊	中央病院	3,920,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
53	64Cu-DOTA-抗体医薬を用いた各種固形がんに対する分子イメージング	田村 研治	中央病院	3,675,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
54	術中MRIを用いた新規外科治療法の開発	成田 善孝	中央病院	20,580,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
55	放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究	伊藤 芳紀	中央病院	24,476,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
56	安全で高精度な放射線治療を実現する放射線治療体制に関する研究	伊丹 純	中央病院	6,174,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
57	新しい革新的な診断法の開発のための研究	楠本 昌彦	中央病院	29,498,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
58	がん専門薬剤師レジデント標準カリキュラムの策定に関する研究	林 憲一	中央病院	1,838,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
59	有効なIVR手技の開発と標準化のための多施設共同研究	荒井 保明	中央病院	22,491,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	
60	手術手技の最適化による標準治療確立のための多施設共同研究	小菅 智男	中央病院	38,259,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）	10

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

61	消化管悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	島田 安博	中央病院	34,496,000	補	国立がん研究センター（がん研究開発費）

1

61

（注） 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は
委託元を記入すること。

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者 所属部門
1	Okita Y, Narita Y, Miyakita Y, Ohno M, Nagai S, Shibui S. Management of cytomegalovirus infection in a patient with malignant glioma treated with temozolomide and steroids. Intern Med, 51:2967-2971, 2012	中央病院
2	Okita Y, Narita Y, Yoshida A, Miyakita Y, Ohno M, Saio M, Yoshimi N, Shibui S. The late recurrence of ganglioneuroma 21 years after initial presentation with neuroblastoma. Pediatr Hematol Oncol, 29:647-651, 2012	中央病院
3	Ohno M, Narita Y, Miyakita Y, Okita Y, Kayama T, Shibui S. Development of secondary skull sarcoma after treatment for childhood acute myeloid leukemia. Asia Pac J Clin Oncol, 8:e49-52, 2012	中央病院
4	Ohno M, Narita Y, Miyakita Y, Okita Y, Matsushita Y, Yoshida A, Fukushima S, Ichimura K, Kayama T, Shibui S. Histopathological malignant progression of grade II and III gliomas correlated with IDH1/2 mutation status. Brain Tumor Pathol, 29:183-191, 2012	中央病院
5	Okita Y, Narita Y, Miyakita Y, Ohno M, Fukushima S, Maeshima A, Kayama T, Shibui S. Long-term follow-up of vanishing tumors in the brain: how should a lesion mimicking primary CNS lymphoma be managed? Clin Neurol Neurosurg, 114:1217-1221, 2012	中央病院
6	Okita Y, Narita Y, Miyakita Y, Ohno M, Fukushima S, Kayama T, Shibui S. Pathological findings and prognostic factors in recurrent glioblastomas. Brain Tumor Pathol, 29:192-200, 2012	中央病院
7	Okita Y, Narita Y, Miyakita Y, Ohno M, Aihara K, Mori S, 3Kayama T, Shibui S. Reactivation of cytomegalovirus following treatment of malignant glioma with temozolomide. Int Cancer Conf J, 1:53-57, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
8	Suzuki S. A case of recurrent lacrimal gland tumor treated by orbital exenteration. Jpn J Clin Oncol, 42:560, 2012	中央病院
9	Yoshimoto S, Hasegawa Y, Matsuzuka T, Shiotani A, Takahashi K, Kohno N, Yoshida T, Kitano H. Sentinel node biopsy for oral and laryngopharyngeal squamous cell carcinoma: a retrospective study of 177 patients in Japan. Auris Nasus Larynx, 39:65-70, 2012	中央病院
10	Miyamoto S, Sakuraba M, Nagamatsu S, Kayano S, Kamizono K, Hayashi R. Risk factors for gastric-tube dependence following tongue reconstruction. Ann Surg Oncol, 19:2320-2326, 2012	中央病院
11	Miyamoto S, Sakuraba M, Nagamatsu S, Kamizono K, Hayashi R. Comparison of reconstruction plate and double flap for reconstruction of an extensive mandibular defect. Microsurgery, 32:452-457, 2012	中央病院
12	Miyamoto S, Sakuraba M, Nagamatsu S. Inadvertent injury of critical perforator vessels during perforator flap surgery. J Reconstr Microsurg, 28:95-98, 2012	中央病院
13	Kayano S, Sakuraba M, Miyamoto S, Nagamatsu S, Taji M, Umezawa H, Kimata Y. Comparison of pedicled and free anterolateral thigh flaps for reconstruction of complex defects of the abdominal wall: review of 20 consecutive cases. J Plast Reconstr Aesthet Surg, 65:1525-1529, 2012	中央病院
14	Asaga S, Kinoshita T. A case of multidisciplinary treatment for a massive locoregional recurrence of breast cancer. Jpn J Clin Oncol, 42:865, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
15	Yonemori K, Hirakawa A, Ando M, Hirata T, Yunokawa M, Shimizu C, Tamura K, Fujiwara Y. Content analysis of oncology-related pharmaceutical advertising in a peerreviewed medical journal. PLoS One, 7:e44393, 2012	中央病院
16	Yunokawa M, Koizumi F, Kitamura Y, Katanasaka Y, Okamoto N, Kodaira M, Yonemori K, Shimizu C, Ando M, Masutomi K, Yoshida T, Fujiwara Y, Tamura K. Efficacy of everolimus, a novel mTOR inhibitor, against basal-like triple-negative breast cancer cells. Cancer Sci, 103:1665-1671, 2012	中央病院
17	Shoji H, Hashimoto K, Kodaira M, Yunokawa M, Yonemori K, Shimizu C, Tamura K, Ando M, Fujiwara Y. Hematologic safety of breast cancer chemotherapies in patients with hepatitis B or C virus infection. Oncology, 82:228-233, 2012	中央病院
18	Fujiwara Y, Takatsuka Y, Imoto S, Inaji H, Ikeda T, Akiyama F, Tamura M, Miyoshi K, Iwata H, Mitsuyama S, Noguchi S. Outcomes of Japanese breast cancer patients treated with preoperative and post-operative anastrozole or tamoxifen. Cancer Sci, 103:491-496, 2012	中央病院
19	Horinouchi H, Sekine I, Sumi M, Ito Y, Nokihara H, Yamamoto N, Ohe Y, Tamura T. Brain metastases after definitive concurrent chemoradiotherapy in patients with stage III lung adenocarcinoma: carcinoembryonic antigen as a potential predictive factor. Cancer Sci, 103:756-759, 2012	中央病院
20	Nokihara H, Yamamoto N, Yamada Y, Yamada K, Hirata T, Goto Y, Tanioka M, Ikeda Y, Tamura T. A phase I study of BMS-690514 in Japanese patients with advanced or metastatic solid tumors. Cancer Chemother Pharmacol, 70:559-565, 2012	中央病院
21	Sekine I, Sumi M, Ito Y, Horinouchi H, Nokihara H, Yamamoto N, Kunitoh H, Ohe Y, Kubota K, Tamura T. Phase I study of concurrent high-dose three-dimensional conformal radiotherapy with chemotherapy using cisplatin and vinorelbine for unresectable stage III non-small-cell lung cancer. Int J Radiat Oncol Biol Phys, 82:953-959, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
22	Yamamoto N, Nokihara H, Yamada Y, Goto Y, Tanioka M, Shibata T, Yamada K, Asahina H, Kawata T, Shi X, Tamura T. A Phase I, dose-finding and pharmacokinetic study of olaparib (AZD2281) in Japanese patients with advanced solid tumors. Cancer Sci, 103:504-509, 2012	中央病院
23	Yamamoto S, Fujita S, Akasu T, Inada R, Moriya Y. Risk factors for anastomotic leakage after laparoscopic surgery for rectal cancer using a stapling technique. Surg Laparosc Endosc Percutan Tech, 22:239-243, 2012	中央病院
24	Iwasa S, Nakajima TE, Nakamura K, Takashima A, Kato K, Hamaguchi T, Yamada Y, Shimada Y. First-line fluorouracilbased chemotherapy for patients with severe peritoneal disseminated gastric cancer. Gastric Cancer, 15:21-26, 2012	中央病院
25	Kato K, Chin K, Yoshikawa T, Yamaguchi K, Tsuji Y, Esaki T, Sakai K, Kimura M, Hamaguchi T, Shimada Y, Matsumura Y, Ikeda R. Phase II study of NK105, a paclitaxel-incorporating micellar nanoparticle, for previously treated advanced or recurrent gastric cancer. Invest New Drugs, 30:1621-1627, 2012	中央病院
26	Yamada Y, Yamaguchi T, Matsumoto H, Ichikawa Y, Goto A, Kato K, Hamaguchi T, Shimada Y. Phase II study of oral S-1 with irinotecan and bevacizumab (SIRB) as first-line therapy for patients with metastatic colorectal cancer. Invest New Drugs, 30:1690-1696, 2012	中央病院
27	Shimada Y. Chemotherapy and molecular-targeted treatment for unresectable hepatic metastases: a Japanese perspective. J Hepatobiliary Pancreat Sci, 19:515-522, 2012	中央病院
28	Iwasa S, Goto M, Yasui H, Nishina T, Takahari D, Nakayama N, Taira K, Kusaba H, Fuse N, Hironaka S, Shimada Y, Nakajima TE. Multicenter feasibility study of combination therapy with fluorouracil, leucovorin and paclitaxel (FLTAX) for peritoneal disseminated gastric cancer with massive ascites or inadequate oral intake. Jpn J Clin Oncol, 42:787-793, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
29	Iwasa S, Yamada Y, Kato K, Goto A, Honma Y, Hamaguchi T, Shimada Y. Long-term results of a phase II study of S-1 plus irinotecan in metastatic colorectal cancer. Anticancer Res, 32:4157-4161, 2012	中央病院
30	Sekiguchi M, Matsuda T, Tamai N, Sakamoto T, Nakajima T, Otake Y, Kakugawa Y, Murakami Y, Saito Y. Cost-effectiveness of total colonoscopy in screening of colorectal cancer in Japan. Gastroenterol Res Pract, 2012:728454, 2012	中央病院
31	Otake Y, Saito Y, Sakamoto T, Aoki T, Nakajima T, Toyoshima N, Matsuda T, Ono H. New closure technique for large mucosal defects after endoscopic submucosal dissection of colorectal tumors (with video). Gastrointest Endosc, 75:663-667, 2012	中央病院
32	Sakamoto T, Matsuda T, Nakajima T, Saito Y. Efficacy of endoscopic mucosal resection with circumferential incision for patients with large colorectal tumors. Clin Gastroenterol Hepatol, 10:22-26, 2012	中央病院
33	Sakamoto T, Matsuda T, Aoki T, Nakajima T, Saito Y. Time saving with narrow-band imaging for distinguishing between neoplastic and non-neoplastic small colorectal lesions. J Gastroenterol Hepatol, 27:351-355, 2012	中央病院
34	Yamada M, Sekine S, Matsuda T, Yoshida M, Taniguchi H, Kushima R, Sakamoto T, Nakajima T, Saito Y, Akasu T. Dometype carcinoma of the colon; a rare variant of adenocarcinoma resembling a submucosal tumor: a case report. BMC Gastroenterol, 12:21, 2012	中央病院
35	Saito Y, Kawano H, Takeuchi Y, Ohata K, Oka S, Hotta K, Okamoto K, Homma K, Uraoka T, Hisabe T, Chang DK, Zhou P-H. Current status of colorectal endoscopic submucosal dissection in Japan and other Asian countries: progressing towards technical standardization. Dig Endosc, 24 Suppl 1:67-72, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
36	Kakugawa Y, Saito Y, Saito S, Watanabe K, Ohmiya N, Murano M, Oka S, Arakawa T, Goto H, Higuchi K, Tanaka S, Ishikawa H, Tajiri H. New reduced volume preparation regimen in colon capsule endoscopy. World J Gastroenterol, 18:2092-2098, 2012	中央病院
37	Sakamoto T, Matsuda T, Otake Y, Nakajima T, Saito Y. Predictive factors of local recurrence after endoscopic piecemeal mucosal resection. J Gastroenterol, 47:635-640, 2012	中央病院
38	Oda I, Odagaki T, Suzuki H, Nonaka S, Yoshinaga S. Learning curve for endoscopic submucosal dissection of early gastric cancer based on trainee experience. Dig Endosc, 24 Suppl 1:129-132, 2012	中央病院
39	Kakugawa Y, Terasaka S, Watanabe T, Tanaka S, Taniguchi H, Saito Y. Enteropathy-associated T-cell lymphoma in small intestine detected by capsule endoscopy. Leuk Lymphoma, 53:1623-1624, 2012	中央病院
40	Sakamoto T, Miyake M, Nakajima T, Matsuda T, Taniguchi H, Saito Y, Iinuma G. The use of computed tomographic colonography in predicting the difficulty of endoscopic treatment for large protruding neoplasms. Int J Colorectal Dis, 27:1243-1244, 2012	中央病院
41	Nonaka S, Saito Y, Fukunaga S, Sakamoto T, Nakajima T, Matsuda T. Impact of endoscopic submucosal dissection knife on risk of perforation with an animal model-monopolar needle knife and with a bipolar needle knife. Dig Endosc, 24:381, 2012	中央病院
42	Suzuki H, Saito Y, Oda I, Kikuchi T, Kiriyama S, Fukunaga S. Comparison of narrowband imaging with autofluorescence imaging for endoscopic visualization of superficial squamous cell carcinoma lesions of the esophagus. Diagn Ther Endosc, 2012:507597, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
43	Yamada M, Sekine S, Ogawa R, Taniguchi H, Kushima R, Tsuda H, Kanai Y. Frequent activating GNAS mutations in villous adenoma of the colorectum. J Pathol, 228:113-118, 2012	中央病院
44	Yoshinaga S, Oda I, Nonaka S, Kushima R, Saito Y. Endoscopic ultrasound using ultrasound probes for the diagnosis of early esophageal and gastric cancers. World J Gastrointest Endosc, 4:218-226, 2012	中央病院
45	Sekiguchi M, Suzuki H, Oda I, Yoshinaga S, Nonaka S, Saka M, Katai H, Taniguchi H, Kushima R, Saito Y. Dehiscence following successful endoscopic closure of gastric perforation during endoscopic submucosal dissection. World J Gastroenterol, 18:4224-4227, 2012	中央病院
46	Matsumoto M, Fukunaga S, Saito Y, Matsuda T, Nakajima T, Sakamoto T, Tamai N, Kikuchi T. Risk factors for delayed bleeding after endoscopic resection for large colorectal tumors. Jpn J Clin Oncol, 42:1028-1034, 2012	中央病院
47	Yamagishi H, Sakamoto T, Matsuda T, Nakajima T, Saito Y. Solitary metastatic colon cancer showing a small depressed configuration. Intern Med, 51:2321-2324, 2012	中央病院
48	Oda I, Shimazu T, Ono H, Tanabe S, Iishi H, Kondo H, Ninomiya M. Design of Japanese multicenter prospective cohort study of endoscopic resection for early gastric cancer using Web registry (J-WEB/EGC). Gastric Cancer, 15:451-454, 2012	中央病院
49	Izumo T, Sasada S, Nakamura Y, Tsuchida T. Endobronchial Ultrasound and Biopsy. Science MED, 3: 149-154, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
50	Nara S, Shimada K, Sakamoto Y, Esaki M, Kishi Y, Kosuge T, Ojima H. Prognostic impact of marginal resection for patients with solitary hepatocellular carcinoma: evidence from 570 hepatectomies. Surgery, 151:526-536, 2012	中央病院
51	Kishi Y, Shimada K, Hata S, Oguro S, Sakamoto Y, Nara S, Esaki M, Hiraoka N, Kosuge T. Definition of T3/4 and regional lymph nodes in gallbladder cancer: which is more valid, the UICC or the Japanese staging system? Ann Surg Oncol, 19:3567-3573, 2012	中央病院
52	Nara S, Oguro S, Hata S, Kishi Y, Esaki M, Shimada K, Kosuge T. Total pancreatectomy with en bloc celiac axis resection for a pancreatic adenocarcinoma involving both the gastroduodenal artery and the celiac artery. Hepatogastroenterology, 59:1635-1637, 2012	中央病院
53	Okusaka T, Ueno M, Sato T, Heike Y. Possibility of immunotherapy for biliary tract cancer: how do we prove efficacy? Introduction to a current ongoing phase I and randomized phase II study to evaluate the efficacy and safety of adding Wilms tumor 1 peptide vaccine to gemcitabine and cisplatin for the treatment of advanced biliary tract cancer (WT-BT trial). J Hepatobiliary Pancreat Sci, 19:314-318, 2012	中央病院
54	Okusaka T, Ueno H, Ikeda M, Takezako Y, Morizane C. Phase I study of TAC-101, an oral synthetic retinoid, in Japanese patients with advanced hepatocellular carcinoma. Cancer Sci, 103:1524-1530, 2012	中央病院
55	Okusaka T, Kasugai H, Ishii H, Kudo M, Sata M, Tanaka K, Shioyama Y, Chayama K, Kumada H, Yoshikawa M, Seki T, Saito H, Hayashi N, Shiratori K, Okita K, Sakaida I, Honda M, Kusumoto Y, Tsutsumi T, Sakata K. A randomized phase II trial of intra-arterial chemotherapy using SM-11355 (Miriplatin) for hepatocellular carcinoma. Invest New Drugs, 30:2015-2025, 2012	中央病院
56	Morizane C, Okusaka T, Ueno H, Kondo S, Ikeda M, Furuse J, Shinichi O, Nakachi K, Mitsunaga S, Kojima Y, Suzuki E, Ueno M, Yamaguchi T. Phase I/II study of gemcitabine as a fixed dose rate infusion and S-1 combination therapy (FGS) in gemcitabine-refractory pancreatic cancer patients. Cancer Chemother Pharmacol, 69:957-964, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
57	Kondo S, Ueno H, Hashimoto J, Morizane C, Koizumi F, Okusaka T, Tamura K. Circulating endothelial cells and other angiogenesis factors in pancreatic carcinoma patients receiving gemcitabine chemotherapy. BMC Cancer, 12:268, 2012	中央病院
58	Shiba S, Kondo S, Ueno H, Morizane C, Ikeda M, Okusaka T. Hepatitis B Virus Reactivation during Treatment with Multi-Tyrosine Kinase Inhibitor for Hepatocellular Carcinoma. Case Rep Oncol, 5:515-519, 2012	中央病院
59	Hara T, Komiyama M. A case of left renal cell carcinoma with massive tumor thrombus extending into the inferior vena cava. Jpn J Clin Oncol, 42:658, 2012	中央病院
60	Ikeda S, Yoshimura K, Onda T, Kasamatsu T, Kato T, Ishikawa M, Sasajima Y, Tsuda H. Combination of squamous cell carcinoma-antigen, carcinoembryonic antigen, and carbohydrate antigen 19-9 predicts positive pelvic lymph nodes and parametrial involvement in early stage squamous cell carcinoma of the uterine cervix. J Obstet Gynaecol Res, 38:1260-1265, 2012	中央病院
61	Ikeda S, Kato T. A case of pelvic actinomycosis unrelated to an intrauterine device. Jpn J Clin Oncol, 42:237-238, 2012	中央病院
62	Asano N, Nakatani F. A case of hemangiopericytoma of the pelvis. Jpn J Clin Oncol, 42:1110, 2012	中央病院
63	Nakatani F, Ferracin M, Manara MC, Ventura S, Del Monaco V, Ferrari S, Alberghini M, Grilli A, Knuutila S, Schaefer K-L, Mattia G, Negrini M, Picci P, Serra M, Scotlandi K. miR-34a predicts survival of Ewing's sarcoma patients and directly influences cell chemo-sensitivity and malignancy. J Pathol, 226:796-805, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者 所属部門
64	Kayano S, Kawai A. A case of huge malignant peripheral nerve sheath tumor (MPNST) in the back. Jpn J Clin Oncol, 42:984, 2012	中央病院
65	Ogura K, Fujiwara T, Beppu Y, Chuman H, Yoshida A, Kawano H, Kawai A. Extraskeletal myxoid chondrosarcoma: a review of 23 patients treated at a single referral center with long-term follow-up. Arch Orthop Trauma Surg, 132:1379-1386, 2012	中央病院
66	Ogura K, Beppu Y, Chuman H, Yoshida A, Yamamoto N, Sumi M, Kawano H, Kawai A. Alveolar soft part sarcoma: a singlecenter 26-patient case series and review of the literature. Sarcoma, 2012:907179, 2012	中央病院
67	Asano N, Susa M, Hosaka S, Nakayama R, Kobayashi E, Takeuchi K, Horiuchi K, Suzuki Y, Anazawa U, Mukai M, Toyama Y, Yabe H, Morioka H. Metastatic patterns of myxoid/round cell liposarcoma: a review of a 25-year experience. Sarcoma, 2012:345161, 2012	中央病院
68	Ogura K, Shinoda Y, Okuma T, Ushiku T, Motoi T, Kawano H. Recurrent epithelioid hemangioma: therapeutic potential of tranilast and indomethacin. J Orthop Sci, 17:194-198, 2012	中央病院
69	Ogura K, Miyake R, Shiina S, Shinoda Y, Okuma T, Kobayashi H, Goto T, Nakamura K, Kawano H. Bone radiofrequency ablation combined with prophylactic internal fixation for metastatic bone tumor of the femur from hepatocellular carcinoma. Int J Clin Oncol, 17:417-421, 2012	中央病院
70	Setsu N, Kohashi K, Endo M, Yamamoto H, Ohishi Y, Sueyoshi K, Iwamoto Y, Tsuneyoshi M, Motoi T, Kumagai A, Oda Y. Inhibin-alpha and synaptophysin immunoreactivity in synovial sarcoma with granular cell features. Hum Pathol, 43:850-857, 2012	中央病院

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者 所属部門
71	Setsu N, Yamamoto H, Kohashi K, Endo M, Matsuda S, Yokoyama R, Nishiyama K, Iwamoto Y, Dobashi Y, Oda Y. The Akt/mammalian target of rapamycin pathway is activated and associated with adverse prognosis in soft tissue leiomyosarcomas. Cancer, 118:1637-1648, 2012	中央病院
72	Namikawa K, Yamazaki N, Nakai Y, Ihn H, Tomita Y, Uhara H, Takenouchi T, Kiyohara Y, Moroi Y, Yamamoto Y, Otsuka F, Kamiya H, Iizuka H, Hatta N, Kadono T. Prediction of additional lymph node positivity and clinical outcome of micrometastases in sentinel lymph nodes in cutaneous melanoma: a multi-institutional study of 450 patients in Japan. J Dermatol, 39:130-137, 2012	中央病院
73	Tobinai K. Guest editorial: Management of malignant lymphoma is continuously improving. Int J Hematol, 96:533-534, 2012	中央病院
74	Tobinai K, Takahashi T, Akinaga S. Targeting chemokine receptor CCR4 in adult T-cell leukemia-lymphoma and other T-cell lymphomas. Curr Hematol Malig Rep, 7:235-240, 2012	中央病院
75	Tada K, Kim SW, Asakura Y, Hiramoto N, Yakushijin K, Kurosawa S, Tajima K, Mori S, Heike Y, Tanosaki R, Maeshima AM, Taniguchi H, Furuta K, Kagami Y, Matsuno Y, Tobinai K, Takaue Y, Fukuda T. Comparison of outcomes after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in patients with follicular lymphoma, diffuse large B-cell lymphoma associated with follicular lymphoma, or de novo diffuse large B-cell lymphoma. Am J Hematol, 87:770-775, 2012	中央病院
76	Fuji S, Nakamura F, Hatanaka K, Taniguchi S, Sato M, Mori S, Sakamaki H, Yabe H, Miyamoto T, Kanamori H, Ueda Y, Kawa K, Kato K, Suzuki R, Atsuta Y, Tamaki T, Kanda Y. Peripheral blood as a preferable source of stem cells for salvage transplantation in patients with graft failure after cord blood transplantation: a retrospective analysis of the registry data of the Japanese Society for Hematopoietic Cell Transplantation. Biol Blood Marrow Transplant, 18:1407-1414, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
77	Fuji S, Mori T, Lee V, Cheng J, Linton N, Lie A, Khattry N, Shigematsu A, Uchida N, Eto T, Thang ND, Liu YC, Yang DH, Kim JS, Moon JH, Kim DY, Iida M, Suzuki R, Kodera Y, Kim SW. A Multi-Center International Survey Related to the Nutritional Support after Hematopoietic Stem Cell Transplantation Endorsed by the ASIA Pacific Blood and Marrow Transplantation (APBMT). Food Nutrition Sciences, 3:417-421, 2012	中央病院
78	Fuji S, Kapp M, Einsele H. Challenges to preventing infectious complications, decreasing re-hospitalizations, and reducing cost burden in long-term survivors after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Semin Hematol, 49:10-14, 2012	中央病院
79	Saito O, Akagi T, Tatsuno M, Miura K, Shuto C, Kudo N, Murakami S, Matoba M. A small amount of katamine with oxycodone induced an acute hyperactive delirium due to voriconazole, a CYP3A4 inhibitor, in a case of multiple myeloma with cancer pain. Palliat Care Res, 7:506-509, 2012	中央病院
80	Shuto C. Activation of in-hospital palliative care - from the palliative care team approach. Symptom Management in Cancer Patients, 23:151-157, 2012	中央病院
81	Shimizu K, Nakaya N, Saito-Nakaya K, Akechi T, Yamada Y, Fujimori M, Ogawa A, Fujisawa D, Goto K, Iwasaki M, Tsugane S, Uchitomi Y. Clinical biopsychosocial risk factors for depression in lung cancer patients: a comprehensive analysis using data from the Lung Cancer Database Project. Ann Oncol, 23:1973-1979, 2012	中央病院
82	Arai Y. Clinical trials of interventional oncology. Int J Clin Oncol, 17:301-305, 2012	中央病院
83	Sofue K, Tateishi U, Tsurusaki M, Arai Y, Yamazaki N, Sugimura K. MR imaging of hepatic metastasis in patients with malignant melanoma: evaluation of suspected lesions screened at contrast-enhanced CT. Eur J Radiol, 81:714-718, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
84	Tateishi U, Miyake M, Nagaoka T, Terauchi T, Kubota K, Kinoshita T, Daisaki H, Macapinlac HA. Neoadjuvant chemotherapy in breast cancer: prediction of pathologic response with PET/CT and dynamic contrast-enhanced MR imaging--prospective assessment. Radiology, 263:53-63, 2012	中央病院
85	Arai Y, Ohtsu A, Sato Y, Aramaki T, Kato K, Hamada M, Muro K, Yamada Y, Inaba Y, Shimada Y, Boku N, Takeuchi Y, Morita S, Satake M. Phase I/II study of radiologic hepatic arterial infusion of fluorouracil plus systemic irinotecan for unresectable hepatic metastases from colorectal cancer: Japan Clinical Oncology Group Trial 0208-DI. J Vasc Interv Radiol, 23:1261-1267, 2012	中央病院
86	Sofue K, Arai Y, Takeuchi Y, Fujiwara H, Tokue H, Sugimura K. Safety and efficacy of primary metallic biliary stent placement with tract embolization in patients with massive ascites: a retrospective analysis of 16 patients. J Vasc Interv Radiol, 23:521-527, 2012	中央病院
87	Kurihara H, Honda N, Kono Y, Arai Y. Radiolabelled agents for PET imaging of tumor hypoxia. Curr Med Chem, 19:3282-3289, 2012	中央病院
88	Mayahara H, Ito Y, Morizane C, Ueno H, Okusaka T, Kondo S, Murakami N, Morota M, Sumi M, Itami J. Salvage chemoradiotherapy after primary chemotherapy for locally advanced pancreatic cancer: a single-institution retrospective analysis. BMC Cancer, 12:609, 2012	中央病院
89	Murakami N, Suzuki S, Ito Y, Yoshimura R, Inaba K, Kuroda Y, Morota M, Mayahara H, Sakudo M, Wakita A, Okamoto H, Sumi M, Kagami Y, Nakagawa K, Ohtomo K, Itami J. (1)(0)(6)Ruthenium plaque therapy (RPT) for retinoblastoma. Int J Radiat Oncol Biol Phys, 84:59-65, 2012	中央病院
90	Mayahara H, Sumi M, Ito Y, Sekii S, Takahashi K, Inaba K, Kuroda Y, Murakami N, Morota M, Itami J. Effect of chemotherapy on survival after whole brain radiation therapy for brain metastases: a single-center retrospective analysis. J Cancer Res Clin Oncol, 138:1239-1247, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
91	Tsuta K, Kozu Y, Mimae T, Yoshida A, Kohno T, Sekine I, Tamura T, Asamura H, Furuta K, Tsuda H. c-MET/phospho-MET protein expression and MET gene copy number in nonsmall cell lung carcinomas. J Thorac Oncol, 7:331-339, 2012	中央病院
92	Tsuta K, Wistuba II, Moran CA. Differential expression of somatostatin receptors 1-5 in neuroendocrine carcinoma of the lung. Pathol Res Pract, 208:470-474, 2012	中央病院
93	Yoshida A, Sekine S, Tsuta K, Fukayama M, Furuta K, Tsuda H. NKX2.2 is a useful immunohistochemical marker for Ewing sarcoma. Am J Surg Pathol, 36:993-999, 2012	中央病院
94	Yoshida A, Ushiku T, Motoi T, Beppu Y, Fukayama M, Tsuda H, Shibata T. MDM2 and CDK4 immunohistochemical coexpression in high-grade osteosarcoma: correlation with a dedifferentiated subtype. Am J Surg Pathol, 36:423-431, 2012	中央病院
95	Yoshida M, Tsuda H, Yamamoto S, Kinoshita T, Akashi-Tanaka S, Hojo T, Fukutomi T. Loss of heterozygosity on chromosome 16q suggests malignancy in core needle biopsy specimens of intraductal papillary breast lesions. Virchows Arch, 460:497-504, 2012	中央病院
96	Tsuda H. Journal Watch: Our expert highlights the most important research articles across the spectrum of topics relevant to the field of genetics and pathology of breast cancer. Breast Cancer Manage, 1:189-190, 2012	中央病院
97	Furuta K, Matsuhita K, Goto Y, Miyagi Y, Sawabe M, Shirakashi R, Takeuchi T, Masui T, Aoki I, Nakagawara A. An attempt to establish a network of bioresource facilities in Japan. Biopreserv Biobank, 10: 6, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
98	Makino Y, Yamamoto N, Sato H, Ando R, Goto Y, Tanai C, Asahina H, Nokihara H, Sekine I, Kunitoh H, Ohe Y, Sugiyama E, Yokote N, Tamura T, Yamamoto H. Pharmacokinetic and pharmacodynamic study on amrubicin and amrubicinol in Japanese patients with lung cancer. Cancer Chemother Pharmacol, 69:861-869, 2012	中央病院
99	Yonemori K, Hirakawa A, Ryushima Y, Saito M, Yamamoto H, Hirata T, Ando M, Kodaira M, Yunokawa M, Shimizu C, Tamura K, Yamamoto H, Fujiwara Y. An analysis of guidance for proper usage documents for oncology drugs in Japan. Pharmaceut Med, 26:165-170, 2012	中央病院
100	McCarthy BJ, Shibui S, Kayama T, Miyaoka E, Narita Y, Murakami M, Matsuda A, Matsuda T, Sobue T, Palis BE, Dolecek TA, Kruchko C, Engelhard HH, Villano JL. Primary CNS germ cell tumors in Japan and the United States: an analysis of 4 tumor registries. Neuro Oncol, 14:1194-1200, 2012	中央病院
101	Martin M, Bell R, Bourgeois H, Brufsky A, Diel I, Eniu A, Fallowfield L, Fujiwara Y, Jassem J, Paterson AHG, Ritchie D, Steger GG, Stopeck A, Vogel C, Fan M, Jiang Q, Chung K, Dansey R, Braun A. Bone-related complications and quality of life in advanced breast cancer: results from a randomized phase III trial of denosumab versus zoledronic acid. Clin Cancer Res, 18:4841-4849, 2012	中央病院
102	Rusch VW, Giroux D, Kennedy C, Ruffini E, Cangir AK, Rice D, Pass H, Asamura H, Waller D, Edwards J, Weder W, Hoffmann H, van Meerbeeck JP. Initial analysis of the international association for the study of lung cancer mesothelioma database. J Thorac Oncol, 7:1631-1639, 2012	中央病院
103	Van Schil PE, Asamura H, Rusch VW, Mitsudomi T, Tsuboi M, Brambilla E, Travis WD. Surgical implications of the new IASLC/ATS/ERS adenocarcinoma classification. Eur Respir J, 39:478-486, 2012	中央病院
104	Ozawa S, Tachimori Y, Baba H, Fujishiro M, Matsubara H, Numasaki H, Oyama T, Shinoda M, Takeuchi H, Teshima T, Udagawa H, Uno T, Barron JP. Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan, 2004. Esophagus, 9:75-98, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
105	Fujita S, Akasu T, Mizusawa J, Saito N, Kinugasa Y, Kanemitsu Y, Ohue M, Fujii S, Shiozawa M, Yamaguchi T, Moriya Y. Postoperative morbidity and mortality after mesorectal excision with and without lateral lymph node dissection for clinical stage II or stage III lower rectal cancer (JCOG0212): results from a multicentre, randomised controlled, noninferiority trial. Lancet Oncol, 13:616-621, 2012	中央病院
106	Sobrero A, Yamada Y, Douillard JY, Moehler M. The need for a new fluoropyrimidine in advanced gastric cancer treatment. Eur Oncol Haematol, 8: 232-240, 2012	中央病院
107	Quintero E, Hassan C, Senore C, Saito Y. Progress and challenges in colorectal cancer screening. Gastroenterol Res Pract, 2012:846985, 2012	中央病院
108	Quintero E, Saito Y, Hassan C, Senore C. Colorectal cancer screening. Gastroenterol Res Pract, 2012:476065, 2012	中央病院
109	Koo JH, Leong RWL, Ching J, Yeoh K-G, Wu D-C, Murdani A, Cai Q, Chiu H-M, Chong VH, Rerknimitr R, Goh K-L, Hilmi I, Byeon J-S, Niaz SK, Siddique A, Wu KC, Matsuda T, Makharia G, Sollano J, Lee S-K, Sung JJY. Knowledge of, attitudes toward, and barriers to participation of colorectal cancer screening tests in the Asia-Pacific region: a multicenter study. Gastrointest Endosc, 76:126-135, 2012	中央病院
110	Oki Y, Kondo Y, Yamamoto K, Ogura M, Kasai M, Kobayashi Y, Watanabe T, Uike N, Ohyashiki K, Okamoto S, Ohnishi K, Tomita A, Miyazaki Y, Tohyama K, Mukai HY, Hotta T, Tomonaga M. Phase I/II study of decitabine in patients with myelodysplastic syndrome: a multi-center study in Japan. Cancer Sci, 103:1839-1847, 2012	中央病院
111	Asai M, Akizuki N, Fujimori M, Matsui Y, Itoh K, Ikeda M, Hayashi R, Kinoshita T, Ohtsu A, Nagai K, Kinoshita H, Uchitomi Y. Psychological states and coping strategies after bereavement among spouses of cancer patients: a quantitative study in Japan. Support Care Cancer, 20:3189-3203, 2012	中央病院

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	著者名、論文名、雑誌名	筆頭著者所属部門
112	Takayasu K, Arii S, Kudo M, Ichida T, Matsui O, Izumi N, Matsuyama Y, Sakamoto M, Nakashima O, Ku Y, Kokudo N, Makuuchi M. Superselective transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma. Validation of treatment algorithm proposed by Japanese guidelines. J Hepatol, 56:886-892, 2012	中央病院
113	Takayasu K. Transarterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma over three decades: current progress and perspective. Jpn J Clin Oncol, 42:247-255, 2012	中央病院
114	Kang KJ, Kim KM, Kim JJ, Rhee PL, Lee JH, Min BH, Rhee JC, Kushima R, Lauwers GY. Gastric extremely well-differentiated intestinal-type adenocarcinoma: a challenging lesion to achieve complete endoscopic resection. Endoscopy, 44:949-952, 2012	中央病院
115	Park ES, Kim YE, Park CK, Yao T, Kushima R, Kim K-M. Gastric adenocarcinoma of fundic gland type: report of three cases. Korean J Pathol, 46:287-291, 2012	中央病院
116	Maeshima AM, Tsuta K, Asamura H, Tsuda H. Prognostic implication of metastasis limited to segmental (level 13) and/or subsegmental (level 14) lymph nodes in patients with surgically resected nonsmall cell lung carcinoma and pathologic N1 lymph node status. Cancer, 118:4512-4518, 2012	中央病院
117	Sone M, Nishikawa Y, Nagahama Y, Kumagai E, Doi Y, Omori Y, Yoshioka T, Tokairin T, Yoshida M, Sugiyama T, Enomoto K. Recovery of mature hepatocytic phenotype following bile ductular transdifferentiation of rat hepatocytes in vitro. Am J Pathol, 181:2094-2104, 2012	中央病院
118	Kahan Z, Gluck S, Tsuda H. Journal Watch, Our panel of experts highlight the most important research articles across the spectrum of topics relevant to the field of breast cancer management. Breast Cancer Manage, 1: 265-267, 2012	中央病院

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長　荒井 保明
管理担当者氏名	医療安全管理室長：中馬広一 看護部長:那須和子、医事室長：出田剛一 薬剤部長：林憲一 統括事務部長：小須田幸夫

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約　及び入院診療計画書			総務部 医事室 看護部 放射線科	診療に関する患者記録は全て(入院外来問わず) 一患者一ファイル方式で管理。 (1) 診療録等は永久保存 (2) 内視鏡フィルム、10年保存 (3) フィルム (内視鏡ﾌｨﾙﾑ除) 5年保存 (4) 病理、細胞診ﾌﾟﾚﾊﾟﾗｰﾄ、20年保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		人事部	保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは台帳等により管理
	高度の医療の提供の実績		医事室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		研究企画課	
	高度の医療の研修の実績		総務部教育研修係	
	閲覧実績		総務部、医事室	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医事室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		薬剤部	
	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳保管等により管理。規程順守による体制維持に努めている。 ・平成24年7月より感染制御室が設置され、医療安全・院内感染の管理を共に強化している。
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御室	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室	・保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳保管等により管理。規程順守による体制維持に努めている。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理室および各部門	・医療機器安全管理責任者（中馬副院長）統括のもと、各部門ごとに対応。 臨床検査部門 放射線部門 臨床工学部門
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	各部門	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	各部門	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	各部門	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務課長・医事室長
閲覧担当者氏名	総務係長・医事係長
閲覧の求めに応じる場所	総務部総務課・財務経理部財務経理課医事室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 73 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 15 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率		98.9%	算定期間	平成24年 4月1日～平成25年 3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数			10,081人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			5,523人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数			415人
	D：初診の患者の数			10,662人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

（様式第 13-2）

規則第１条の１１第１項各号及び第９条の２３第１項第１号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無

・ 指針の主な内容：
１）インフォームド・コンセントについて
２）意識改革及び啓発を図るための教育・研修及び講演会について
３）インシデント・アクシデント報告と再発防止策の実施について
４）前述の１）から３）を遂行するための組織及び体制について

また、医療安全管理体制の確立・医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、医療事故等防止安全管理規程を定め、医療事故等防止対策委員会・医療安全管理部会を設置。各診療科・各看護単位・各部門にリスクマネージャーを置き、インシデント・アクシデント事例の報告内容の把握・検討等を行い、再発防止に努めている。

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年１２回

・ 活動の主な内容：医療安全管理室へ報告されるインシデント・アクシデント事例について、医療安全管理部会で原因分析や再発防止対策、業務改善事項の検討をしている。部会での検討事項を毎月開催している医療事故等防止対策委員会に報告後、決定事項を医療安全担当副院長から各部署のリスクマネージャーにリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議にて伝達し、所属職員に伝達・周知徹底を図っている。

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年２回

・ 研修の主な内容：
＜全職員研修＞H24.7.23「理事長が語る医療安全」　1326名（DVD上映・閲覧含む）
＜全職員研修＞H24.11.20「せん妄について」　1260名（DVD上映・閲覧含む）

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備　（(有)・無　）
・ その他の改善のための方策の主な内容：
  ・ リスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議での説明・指示・伝達
  ・ 医療安全ニュースの発行
  ・ 職員全員参加の研修会の実施
  ・ 医療安全ポケットマニュアルの年1回の更新

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有)（　２名）・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（　１名）・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無

・ 所属職員：　専任（２）名　兼任（８０）名
・ 活動の主な内容：医療安全管理に関する情報収集・情報提供、インシデント・アクシデントについての実態把握・分析・再発防止対策の立案・広報、医療安全に関する職員教育

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： 感染対策の基本的な考え方、感染対策体制の整備（感染制御室、院内感染対策委員会の設置と専従体制について）、職員に対する研修の基本方針、感染発生状況報告に関する基本方針、発生時の対応に関する方針、患者等に対する当該指針の閲覧に関する方針、その他、感染対策推進のために必要な方針について策定している。	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：院内感染発生動向の監視と効率的な院内感染対策が実施できるよう感染制御室および感染対策チームの活動支援を行う。感染制御室、感染対策チームで検討した課題や提案されたことなどを審議、決定する。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
・研修の主な内容：①「血管内カテーテルに関連した血流感染」DVD上映会・閲覧含み1105名 ②「ワクチン接種について」DVD上映会・閲覧含み1099名 ③「院内感染対策の基本」210名 各講演会未受講者には所属責任者を通じてDVDを貸出し、受講してもらった。 手指衛生・個人防護用具トレーニング計4回　349名	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無 ） アウトブレイク発生時は臨時の委員会を開催し、今後の対策を検討している。 ・ その他の改善のための方策の主な内容： セレウス菌のアウトブレイクに対し感染源の検討を行い、清拭タオルを使用中止しディスポ製品へ変更、環境培養実施、血流感染対策の再教育、清拭物品を保管・準備する環境の整備を行い、セレウス菌による感染の再発に努めた。	

（様式第 13-2）

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
・ 研修の主な内容：医薬品の適正使用、麻薬や抗がん剤等の取り扱いなど	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 （(有)・ 無 ） ・ 業務の主な内容：常備薬(規制医薬品等)の保管・管理状況調査及び各部署による自己評価	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （(有)・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・取り扱いに注意が必要な薬剤に対する薬袋のコメント表記による注意喚起 ・規格が複数ある薬剤は規格の取り違え防止を目的とした表示名称の工夫 ・化学療法に影響をおよぼすことが考えらえる薬剤に関しては採用の可否に関わらず院内周知を実施 ・薬剤部HPの表記、コンテンツの改善 ・後発品切り替え品目に先発品名を付記 ・ケアラム錠25mg/コルベット錠25mg（イグラチモド）とワルファリンとの相互作用が疑われる重篤な出血について ・デノタスチュアブル配合錠の処方方法について ・ティーエスワン配合カプセルの後発品販売開始に伴うお知らせ	

(様式第13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年4～5回
・ 研修の主な内容： ME部門：血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、経皮的人工心肺補助、除細動器についての使用方法、注意点、管理方法について 放射線部門：新規導入医療機器設置後、定期点検後、バージョンアップ後について、使用方法、注意点、管理方法について 検査部門：新規導入医療機器設置後、定期点検後、部品交換後、使用方法、注意事項、法令上遵守すべき事項について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 （(有)・無 ） ・ 保守点検の主な内容： ME部門：医療機器配置場所の職員と臨床工学技士と双方で日常点検を実施。また、機器によって臨床工学技士による定期点検、メーカによる定期点検を実施。 放射線部門：職員による日常点検実施と、メーカによる定期点検の計画・実施・報告 検査部門：部署担当者による日常点検と、ISO15189規格に準じたメーカによる定期点検の計画・実施・報告・作業報告書保管。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （(有)・無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各種医療機器の稼働率調査 日常点検の実施 臨床工学技士による定期点検の実施・点検状況の把握 メーカによる定期点検の実施・職員による点検状況の把握 医療安全管理室ニュース（医療安全、感染と連携）の定期発行 修理・故障報告件数・内容のデータ管理 使用マニュアルの改訂 勉強会の実施 PMDAへの報告	